

2008年春(3月～5月)の東北地方の天候

- 高温
- 東北北部の少雨
- 東北太平洋側の寡照

(1) 2008年春(3月～5月)の天候

東北地方は、5月中旬に寒気が南下し気温が低くなったが、その他の時期は寒気の影響を受けにくく、3か月平均気温はかなり高くなった。特に、3月は移動性高気圧におおわれて晴れる日が多く、高温が顕著であった。4月も寒気の南下がほとんどなく、東北日本海側ではかなりの高温となった。

また、期間を通して低気圧が本州南岸を東進することが多かったため、東北太平洋側では寡照となり、低気圧や寒気の影響を受けることが少なかった東北北部では、1946年以降、春(3月～5月)としては第1位の少雨となった。

3か月平均気温は東北地方でかなり高い。3か月降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で平年並。3か月間日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり少ない。

3月：5日から6日の周期で低気圧が日本付近を通過したが、低気圧の通過後も冬型の気圧配置になる日はほとんどなく、移動性高気圧におおわれて晴れる日が多かった。また、上旬半ばから下旬半ばにかけて、気温が平年よりかなり高い日が続き、東北地方では1946年以降3月として月平均気温高い方からの2位となった。また、低気圧の影響が小さく冬型の気圧配置となる日も少なかったため降水量は少なくなり、特に東北日本海側では1946年以降3月として月降水量少ない方からの1位となった。

月平均気温は東北地方でかなり高い。月降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。月間日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。降雪の深さの月合計平年比は、東北地方は18%でかなり少ない。

4月：この期間、天気は数日の周期で変化したが、寒気の南下はほとんどなく、東北日本海側を中心に高温となった。また、低気圧が日本の北や本州南岸を通ることが多かったため、東北北部では少雨、東北南部では多雨・寡照となった。特に18日から19日にかけて本州南岸を進んだ動きの遅い低気圧の影響により東北南部では大雨となったところがあった。

月平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。月降水量は東北北部で少なく、東北南部で多い。月間日照時間は東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。

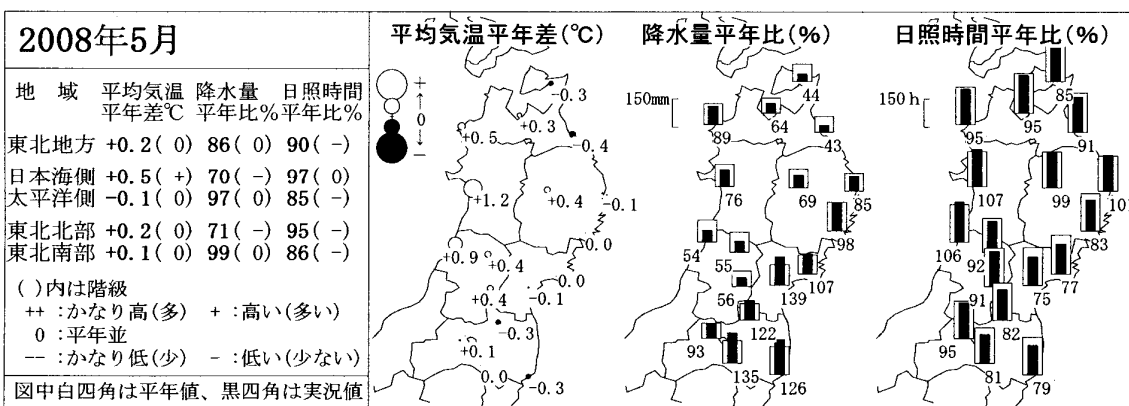
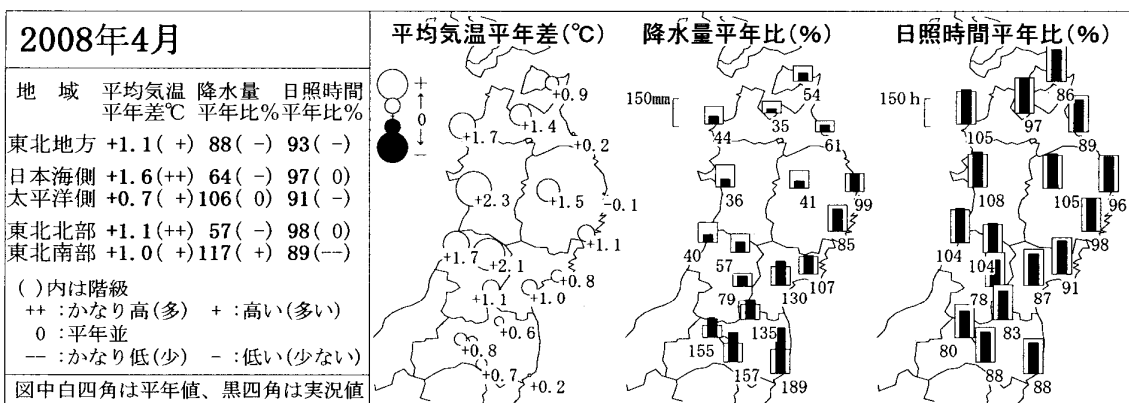
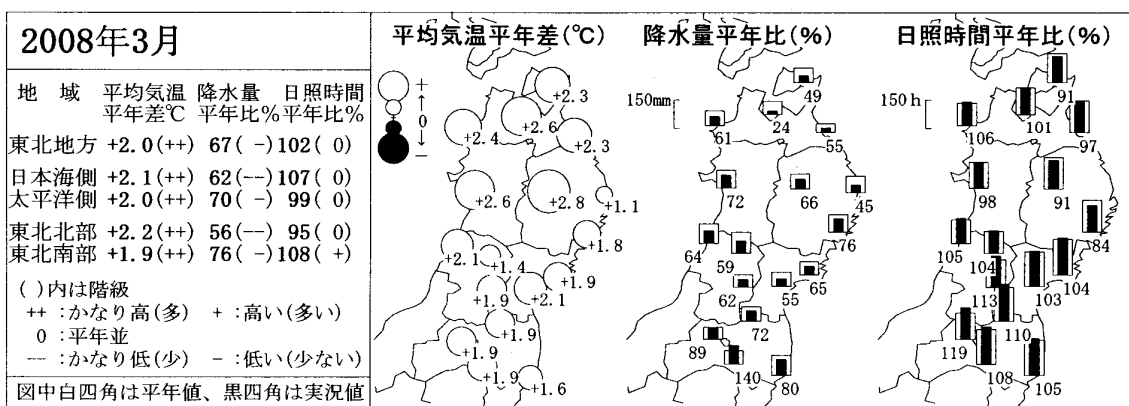
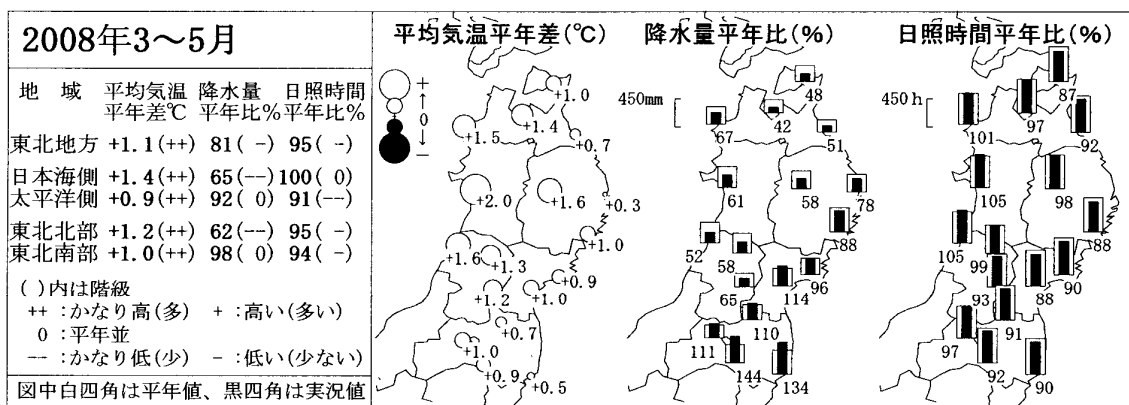
5月：この期間、天気は数日の周期で変化したが、低気圧は日本の南海上や本州南岸を進むことが多かったため、東北北部は降水量が少なかった。また、上旬は前半を中心に暖気が入ったため、気温が平年を大きく上回ったが、上旬の終わりから中旬にかけてと下旬の後半には寒気が南下し低温となるなど、気温の変動が大きかった。20日は日本の南海上の台風第4号を含む気圧の谷が通過し、荒れた天気となった。

月平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側で平年並。月降水量は東北北部で少なく、東北南部で平年並。月間日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

(2) 2008 年春 (3 月～5 月) の季節・月平均 (合計) 値の平年差 (比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

(注) 東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方
 東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方
 東北北部：青森県、秋田県、岩手県
 東北南部：宮城県、山形県、福島県

(3) 2008 年春 (3 月～5 月) の気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(℃)	(℃)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	9.1	(+1.4)	＋＊	88.5	(42)	－＊	22	524.2	(97)	○
深 浦	9.5	(+1.5)	＋＊	186.5	(67)	－＊	25	498.8	(101)	○
む つ	7.9	(+1.0)	＋	121.5	(48)	－＊	24	485.0	(87)	－＊
八 戸	8.6	(+0.7)	＋	100.5	(51)	－＊	22	528.5	(92)	－
秋 田	10.9	(+2.0)	＋＊	203.0	(61)	－＊	25	526.2	(105)	＋
盛 岡	9.6	(+1.6)	＋＊	162.0	(58)	－＊	26	527.6	(98)	○
大 船 渡	9.7	(+1.0)	＋＊	334.5	(88)	○	28	477.0	(88)	－
宮 古	8.6	(+0.3)	＋	217.5	(78)	－	22	480.6]	()	
								(統計月数: 2)		
仙 台	10.8	(+1.0)	＋	317.0	(114)	＋	28	503.4	(88)	－＊
石 巻	9.9	(+0.9)	＋	249.5	(96)	○	26	532.8	(90)	－
山 形	10.6	(+1.2)	＋＊	140.5	(65)	－	24	490.1	(93)	－
新 庄	9.4	(+1.3)	＋＊	181.0	(58)	－＊	32	443.6	(99)	○
酒 田	11.2	(+1.6)	＋＊	171.0	(52)	－＊	28	524.1	(105)	＋
福 島	11.6	(+0.7)	＋	269.0	(110)	＋	30	517.2	(91)	－
若 松	10.4	(+1.0)	＋＊	230.0	(111)	○	34	496.2	(97)	－
白 河	10.3	(+0.9)	＋＊	419.5	(144)	＋＊	33	512.6	(92)	－
小 名 浜	11.3	(+0.5)	＋	512.5	(134)	＋＊	35	516.2	(90)	－

(注) 1. 平年値は 1971～2000 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

＋: 高い (多い) ○: 平年並 －: 低い (少ない)

各階級の区分値は、1971～2000 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる (各階級が 10 個ずつになる) ように決めた。

また、値が 1971～2000 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「＋」に * を付加した。この場合には

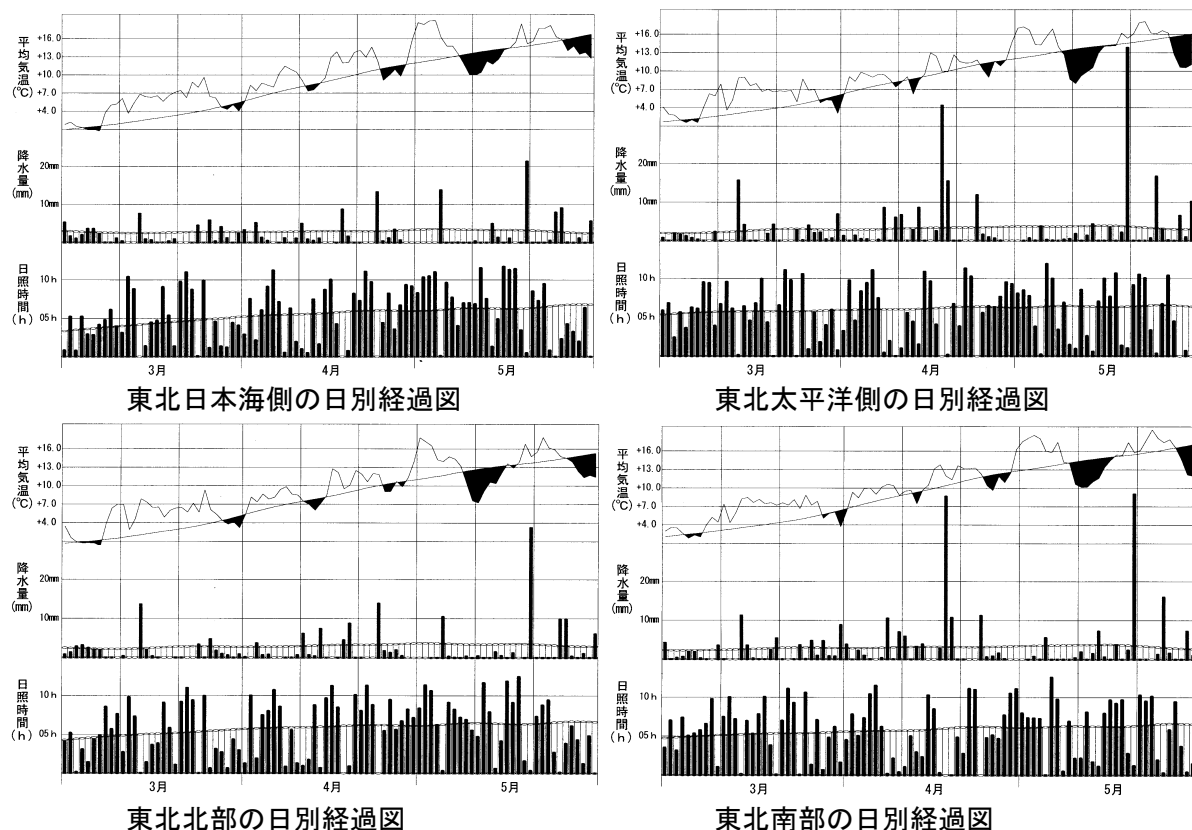
かなり高い (多い) かなり低い (少ない)

と表現できる。

3. 値の横に) や] がある場合には、3 か月別値を求める際に使用したデータ (月別値) に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値 (準完全値) は通常のものと同様に扱うことができるが] 付きの値 (資料不足値) については、値の下に記載した統計月数 (統計に用いた、品質が十分な月別値の数) を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(4) 2008 年春 (3 月～5 月) の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均 (気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱)

(5) 2008 年春 (3 月～5 月) の極値・順位更新

(3 か月平均気温、3 か月間降水量、3 か月間日照時間、降雪の深さ 3 か月間合計値の 3 位以内のみ)
※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

3 か月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	秋田	10.9 =	+2.0	10.9 (1998)	1886	8.9
2	盛岡	9.6	+1.6	9.9 (1998)	1924	8.0
3	酒田	11.2	+1.6	11.7 (1998)	1937	9.6
	山形	10.6 =	+1.2	11.8 (1998)	1891	9.4

3 か月間降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	白河	419.5	144	483.0 (1992)	1940	291.6

3 か月間降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	新庄	181.0	58	203.0 (1994)	1958	313.6
	青森	88.5	42	122.7 (1886)	1886	209.0
	むつ	121.5	48	123.0 (1976)	1935	250.6
	秋田	203.0	61	224.5 (1994)	1886	333.4
2	深浦	186.5	67	132.5 (1984)	1940	280.4
	八戸	100.5 =	51	83.5 (1994)	1937	195.2
	酒田	171.0	52	161.5 (1994)	1937	325.8
3	盛岡	162.0	58	136.5 (1928)	1924	277.3

平年値とは 1971～2000 年の 30 年間の値を平均したものである。

(6) 月統計値の極値更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、月最深積雪 (大きい方)、月降雪量の 1 位のみ。)

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
3 月	深浦	5.0	+2.4	4.9 (2002)	1940	2.6
	青森	4.6	+2.6	4.5 (1990)	1886	2.0
	秋田	5.8	+2.6	5.5 (2002)	1886	3.2
	盛岡	4.6	+2.8	4.0 (2002)	1924	1.8

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
3 月	青森	17.0	24	20.5 (1998)	1886	69.5

平年値とは 1971～2000 年の 30 年間の値を平均したものである。

(7) 2008 年のさくらの開花・満開

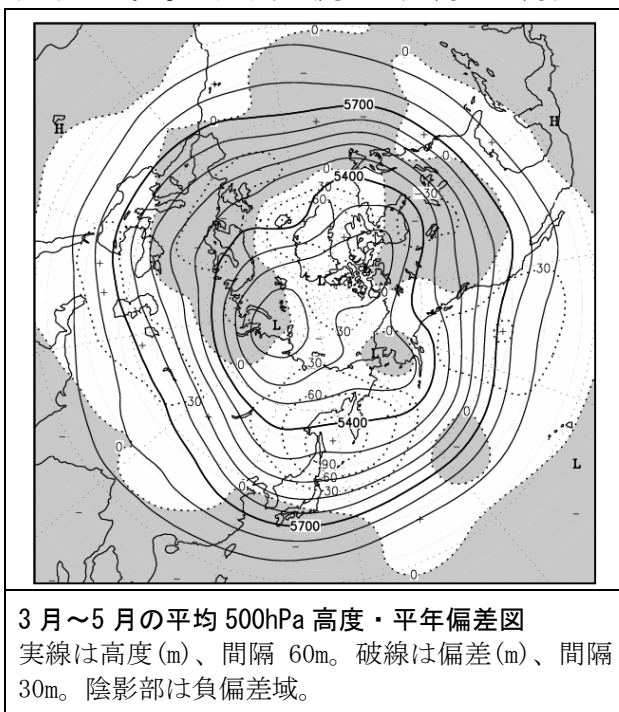
(統計期間:1953年～2007年:平年値は1971年～2000年)

観測地点	開 花 日					満 開 日				
	今年 (2008)	平年値	昨年 (2007)	最早/起年	最晩/起年	今年 (2008)	平年値	昨年 (2007)	最早/起年	最晩/起年
青 森	4.17	4.26	4.25	4.14/2002	5.11/1984	4.21	5.01	4.29	4.16/2002	5.18/1984
盛 岡	4.12	4.23	4.20	4.11/2002	5.06/1984	4.17	4.27	4.29	4.16/2002	5.09/1984
仙 台	4.05	4.12	4.06	3.29/2002	4.28/1984	4.11	4.18	4.12	4.03/2002	5.03/1984
秋 田	4.10	4.19	4.18	4.07/2002	4.30/1984	4.15	4.24	4.23	4.12/2002	5.08/1984
山 形	4.12	4.17	4.13	4.03/2002	4.29/1984	4.16	4.21	4.19	4.06/2002	5.04/1984
酒 田	4.09	4.16	4.12	4.04/2002	4.27/1984	4.13	4.20	4.19	4.08/2002	5.02/1984
福 島	4.06	4.11	4.02	3.29/2002	4.25/1984	4.11	4.15	4.09	4.02/2002	4.28/1984
小名浜	3.30	4.08	3.29	3.25/2002	4.25/1984	4.05	4.14	4.05	4.01/2002	4.29/1984

開花: 標本木が5～6輪開花した状態

満開: 標本木全体のつぼみの80%以上が開花した状態

(8) 北半球の大気の流れ (3月～5月)



3月～5月の平均500hPa高度を見ると、ヨーロッパから中央シベリアの北極海沿岸にかけて負偏差、北アフリカからユーラシア大陸の中緯度をとおり北太平洋東部まで帯状に広く正偏差となった。

日本付近はオホーツク海を中心とする正偏差が顕著で、寒気が南下しにくく、東北地方は高温となった。また、西日本以南にかかる負偏差は、低気圧が本州南岸を東進することが多かったことに対応している。